

(案)

造林事業請負契約書

1 事業名、請負物件、契約面積、請負予定数量、請負予定単価、請負予定金額、事業場所及び生産完了検査場所

事業名	請負物件	契約面積 (ha)	請負予定数量 (m ³)	請負予定単価	請負予定金額	事業場所	生産完了検査場所
森林環境保全整備事業 (奥羽岳地区)	保育間伐 活用型	42.36ha	2,415m ³			別紙1 のとおり	指定土場
	育成受光伐	9.26ha	853m ³				
	保護伐	1.55ha	232m ³				
	小計	53.17ha	3,500m ³				
	検知		3,500m ³		請負金額 金 (うち取引に係る消費税及び地方 消費税額 金 円也 円也		
計		53.17ha	3,500m ³				

2 事業期間

自 令和8年 月 日
至 令和8年12月11日

3 選択条項 別冊約款中選択される条項は次のとおりである。
(選択されるものは○印、削除されるものは×印。)

適用削除の区分	選択事項		選択条項
	契約保証金の納付		第4条第1項第1号
	契約保証金の納付に代わる担保となる有価証券等の提供		第4条第1項第2号
	銀行、甲が確実と認める金融機関等の保証		第4条第1項第3号
	公共工事履行保証証券による保証		第4条第1項第4号
	履行保証保険契約の締結		第4条第1項第5号
	支給材料及び貸与品		第15条
	部分払	月 回以内	第38条
	前金払	分の 以内	第35条第1項
	中間前金払		第35条第4項
	国庫債務負担行為に係る契約の特則		第40条

4 支給材料及び貸与物件

品 名	品質規格	数 量	引渡予定場所	引渡予定期日

5 特約事項

- (1) 事業実行にあたっては、労働安全衛生に関する諸法令及び諸通達に示す指導事項を遵守すること。
- (2) 伐採、搬出にあたっては、河川の汚濁防止に努めるとともに、林地保全には万全を期すること。
- (3) 丸太表皮の剥皮防止に努めること。
- (4) 一般材と低質材を仕分けし、素材の混同をしないこと。
- (5) 降雨等による地盤の状況等を適切に把握し、林道・集材路等の悪化及びを防止すること。
- (6) 虫害時期においては、切捨て作業を優先的に実施すること。
- (7) 国有林材の生産量の調整の必要が生じた場合には、生産調整に可能な範囲で協力すること。
- (8) 林業機械が林道を走行する場合は、雨天時を避ける等林道の保全に努め、販売した丸太を運搬する時の支障とならないようにすること。
- (9) アフリカ豚熱「ASF」に関わる特約事項は別紙2のとおり。

上記の事業について、発注者と請負者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び令和8年 月 日に交付した国有林野事業製品生産請負事業請負契約約款によって公正な請負契約を締結し、信義にしたがって誠実にこれを履行するものとする。

また、請負者が共同事業体を結成している場合には、請負者は別紙共同事業体協定書により契約書記載の事業を共同連帯して請け負う。

本契約の証として本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 年 月 日

発注者 住所 宮城県大崎市古川東町5-32
分任支出負担行為担当官
氏名 宮城北部森林管理署長 泉 光博

請負者 住所
氏名

請負事業内訳書

事業名 森林環境保全整備事業(奥羽岳地区)

林小班(伐区)	材種	作業工程	予定数量 m3	備考
156い1	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	22	
156は1	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	83	
156は2	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	174	
156は3	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	69	
156へ1	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	121	
156ち	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	853	
156り	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	71	
156ぬ1	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	248	
156ぬ2	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	287	
156る1	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	130	
156る3	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	129	
156る4	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	71	
156わ2	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	112	
156わ3	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	132	
156わ5	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	316	
156わ6	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	330	
156そ	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	232	
156ら1	一般材・低質材	伐木造材・集材 運材・巻立	120	
計			3,500	
		素材計測	1,746	(1)の業務
		計測検知	344	(2)の業務
		検尺	1,410	(5)の業務
計			3,500	

特約事項（製品生産事業）

農林水産省では、専門家による検討等を重ね、今般、野生イノシシにおけるアフリカ豚熱（以下、「ASF」という。）の感染確認時の具体的対応が取りまとめられ、都道府県へ通知されたところ。

ASFは、ASFウイルスが豚やイノシシに感染することによる発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病であり、ダニによる媒介、感染畜等との直接的な接触により感染が拡大し、有効なワクチンや治療法はなく、発生した場合の畜産業界への影響が甚大であることから、我が国の家畜伝染病予防法において「家畜伝染病」に指定され、患畜・疑似患畜の速やかな届出とと殺が義務付けられている。

のことから、下記について順守すること。

記

1. 平時における対応について

山林での作業用の靴の履き分けや、下山時や帰宅時の靴及びタイヤの土落とし等、感染防止対策に協力すること。

また、野生イノシシの死体発見時には死体が所在する県の家畜衛生部局に速やかに通報するとともに、当該森林管理署等へ連絡すること。

2. 感染の疑いが生じた場合の対応

ASF対策として、野生イノシシの感染が確認された場合の各県が実施する防疫措置に基づき、消毒ポイントにおける消毒の実施や帰宅後の靴底の洗浄消毒等に協力すること。

また、各県の行う立入制限等の防疫措置等を踏まえ、本契約の作業を一時中止する可能性がある。

一時中止となった場合は、国有林野事業製品生産事業請負契約約款第20条により対応する。

令和7年度 林分条件調査表

森林管理署	宮城北部森林管理署
物件番号	3
物件名	森林環境保全整備事業(奥羽岳地区)

林小班	保安林種別等	主要樹種	林齡	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐採率 %	平均胸高 直径 cm	立木資材量			生産量			予定作業量										最寄り市町村 からの距離 km	備考									
									本数	材積 m³	m³/本	N m³	L m³	計 m³	方法	数量 m³	方式	数量 m³	フォワーダ 片道運搬距離 m	グラッフル付きトラック 片道運搬距離 m	数量 m³	林地傾斜 緩・中・急	延長 m	2種 編柵 m	緑化 m³	土場 作設等 h	砂利 数量 m³	薬剤 散布 (ミバ イン)	鉄板 規格*枚数 l						
156い1	水源	スギ	30	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.32	33	18	170	39	0.23	22		22	全木	39	プロセッサ	22	876	22			緩						大崎市 鳴子総合支所	13					
156は1	水源	スギ	34	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.00	33	18	689	150	0.22	83		83	全木	150	プロセッサ	83	60	83			緩							13					
156は2	水源	スギ	34	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.48	25	22	879	317	0.36	174		174	全木	317	プロセッサ	174	142	174			緩							13					
156は3	水源	スギ	33	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.84	33	18	578	126	0.22	69		69	全木	126	プロセッサ	69	140	69			中							13					
156へ1	水源	スギ	32	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.46	33	18	1,006	220	0.22	121		121	全木	220	プロセッサ	121	145	121			緩							13					
156ち	水源	スギ	72	育成受光伐	列状間伐(1伐3残)	9.26	25	24	3,200	1,524	0.48	842	11	853	全木	1,524	プロセッサ	853	351	853			中							13					
156り	水源	スギ	33	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.86	33	18	595	129	0.22	71		71	全木	129	プロセッサ	71	174	71			緩							13					
156ぬ1	水源	スギ	55	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.44	25	30	631	452	0.72	245	3	248	全木	452	プロセッサ	248	120	248			中							13					
156ぬ2	水源	スギ	56	保育間伐(活用型)	定性間伐	7.00	23	28	1,120	699	0.62	287		287	全木	699	プロセッサ	287	166	287			中							13					
156る1	水源	スギ	34	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.57	33	18	1,082	236	0.22	130		130	全木	236	プロセッサ	130	68	130			緩							13					
156る3	水源	スギ	34	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.56	33	18	1,074	235	0.22	129		129	全木	235	プロセッサ	129	215	129			中							13					
156る4	水源	スギ	33	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.84	33	18	578	126	0.22	71		71	全木	126	プロセッサ	71	110	71			中							13					
156わ2	水源	スギ	33	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.36	33	18	940	205	0.22	112		112	全木	205	プロセッサ	112	396	112			中							13					
156わ3	水源	スギ	56	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.50	25	30	293	240	0.82	132		132	全木	240	プロセッサ	132	75	132			中							13					
156わ5	水源	スギ	59	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	9.03	25	22	2,564	931	0.36	275	41	316	全木	931	プロセッサ	316	289	316			緩							13					
156わ6	水源	スギ	58	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	7.65	25	22	2,151	789	0.37	288	42	330	全木	789	プロセッサ	330	127	330			中							13					
156そ	水源	スギ	71	保護伐	列状間伐(1伐3残)	1.55	25	30	481	386	0.80	232		232	全木	386	プロセッサ	232	253	232			中							13					
156ら1	水源	スギ	33	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.45	33	18	999	218	0.22	120		120	全木	218	プロセッサ	120	371	120			緩							13					
合計						53.17			19,030	7,024	0.37	3,403	97	3,500		7,024		3,500		3,500								5,385		24h	C-80 296m³	360 (希釈前)	6m×50枚 180日		

1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。

2 面積は伐採面積とする。

3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。

緩:0° ~20° 、中:20° ~30° 、急:30° 以上

4 最寄りの市町村役場(支所含む)からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。

5 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編柵および沢については、作業計画図に図示する。

6 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。

検知業務請負作業内訳書

事業名：森林環境保全整備事業（奥羽岳地区）

単位：m³

材種	作業工程	予定数量	備考
素材	(1) の業務	1,746	
	(2) の業務	344	
	(3) の業務	—	
	(4) の業務	—	
	(5) の業務	1,410	
	合計	3,500	

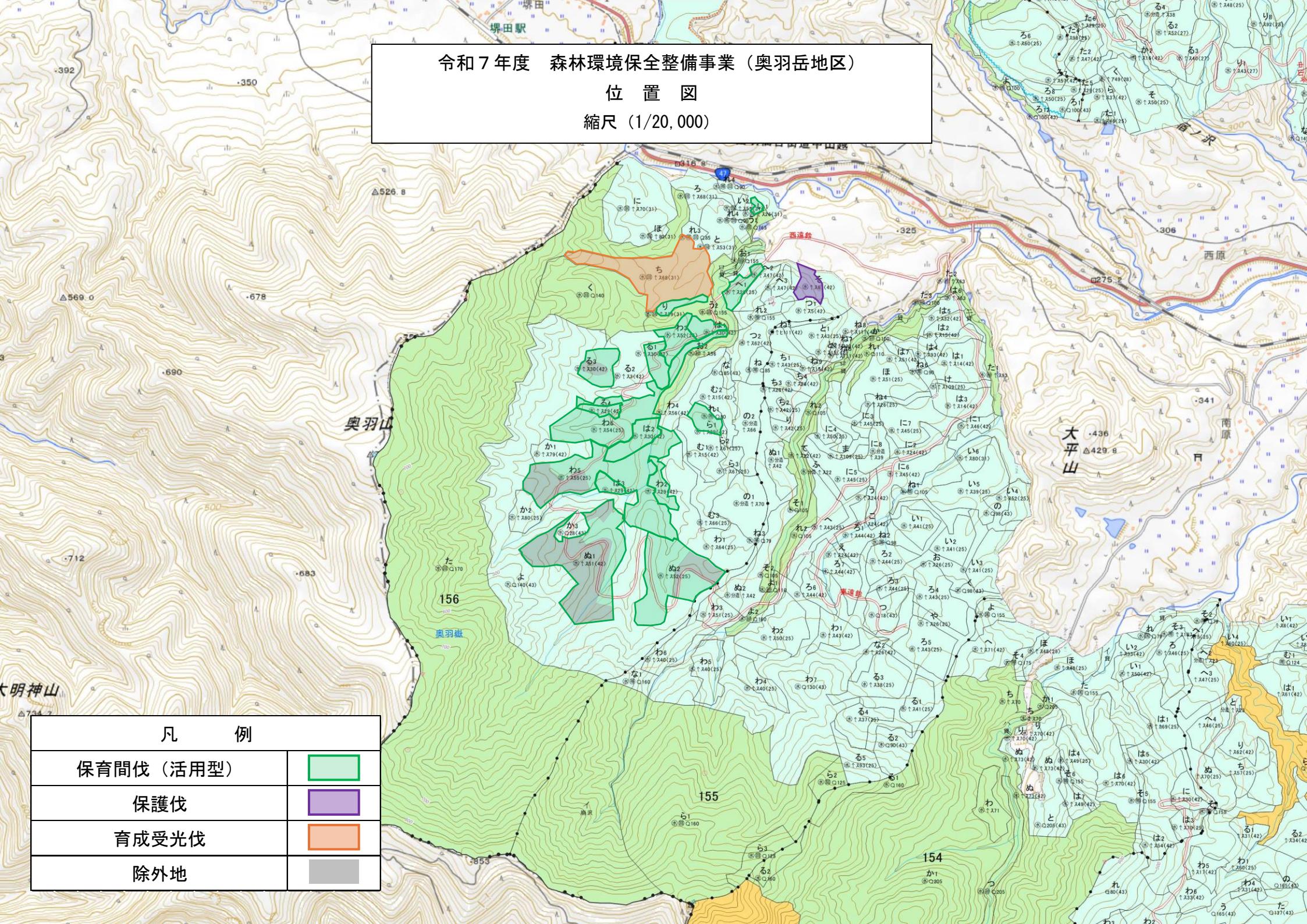
検知業務請負（作業内容）

- (1) の業務 素材の長級・径級を測定、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (2) の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (3) の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行う作業、トラック運材の積み込み本数を確認し送状に記載・交付する作業、及び最終貯木場において指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (4) の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示、材積計算を行い、送状（概算引渡物件明細書）を交付し、スプレーの塗布を行う作業。
- (5) の業務 低質材及び低評価一般材の層積検知（縦、横、高さを測る）を行い指定野帳に記載し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。

令和7年度 森林環境保全整備事業（奥羽岳地区）

位置図

縮尺 (1/20,000)



凡 例

保育間伐（活用型）	
保護伐	
育成受光伐	
除外地	

令和7年度 森林環境保全整備事業（奥羽岳地区）

作業計画図

縮尺 (1/5,000)

